

平成30年度 第6学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	<p>【課題】</p> <p>★目的や意図に応じ、自分の考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりできる力を身につけさせたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆補助教材の活用</p> <p>・自分の目標を伝える学習では、補助教材の映像を用いて、活動の一番初めに見通しをもたせた。自分が何のためにこの学習に取り組むのかを捉えさせたことで、めあてが明確になった。</p> <p>☆相互の学び合いと手立て</p> <p>・自分で書いた文章や友達が書いた文章を読み合う機会を設けた。同じテーマでどのように構成を組み立て、文章にまとめているのかを意識させて読み合った。</p>	<p>C 言葉の吟味</p> <p>・教材の中に出てきた言葉を調べ、単元の最後にある言葉の学習などを通して語彙を増やせるようにする。</p> <p>E 相互の学び合いと手立て</p> <p>・計画的に話し合うために、司会や提案などの役割を各自に理解させ、それぞれの役割に応じて協力し合いながら円滑に運営できるようにさせる。</p> <p>・話し手の意図を考えながら、話の中心、構成の他に内容上の工夫や適切な言葉遣いについてメモを取らせながら、注意して聞かせる。</p>
社会	<p>【課題】</p> <p>★先人の業績や優れた遺産、政治の考え方と仕組みや働き、国際社会における我が国の役割について、社会的事象を具体的にとらえ、その意味について考えたりすることができるようにしたい。</p> <p>・地図帳、統計や年表などの様々な資料から必要な情報を読み取ったり、情報を適切に調べまとめたりできるようにする。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆相互の学び合い</p> <p>・資料の読み取りを個人で行うだけでなく、グループで意見交換をしたり、学級全体で共有したりすることで、自分が読み取ることができなかった情報なども共有できるようにした。</p>	<p>B 教材開発と工夫</p> <p>・資料提示の仕方を工夫したり、児童の興味関心を高める導入をしたりすることで、自分の意見を積極的に話したくなるようにする。</p> <p>E 相互の学び合い</p> <p>・資料の読み取りで得た情報をただ共有するだけでなく、グループや学級全体で、収集した情報や資料から自分たちの課題において必要なものを取捨選択して高め合えるようにする。</p>
算数	<p>【課題】</p> <p>★既習事項を生かして、新しい課題に対して様々な考え方をもって解決しようとする意欲を高めたい。</p> <p>・ただ公式を覚えて使うだけでなく、5年生までの学習事項や6年生のこれまでに学習した事項や考え方をもとに、新しい公式を導き出せるようにする。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆教材開発と工夫</p> <p>・授業の始めに、本時の学習内容と関連している既習事項を確認できるような問題を提示して解く時間を設け、本時の学習に生かせるようにした。</p>	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し</p> <p>・本時の学習でどのようなことを身に付ければよいか(目標)を授業の始めに提示するとともに、課題解決に用いることができそうな既習事項をあげたり確認したりし、課題解決に見通しをもてるようにする。</p> <p>B 教材の開発と工夫</p> <p>・既習事項を生かしやすく、全体的見通しがもちやすい課題にすることで、課題解決に見通しをもちやすくする。</p> <p>・どの児童も意欲的に課題解決ができるよう、習熟度に合わせた課題を設定するようにする。</p>
理科	<p>【課題】</p> <p>★学習課題に対して、どのような実験をする必要があるのか、どんな実験用具が必要なのかなど、自ら問題を解決するための仮説を立て、実験方法を考え、考察し、結論を導き出せるようにしたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆相互の学び合いと手立て</p> <p>・学習形態をグループでの学習にし、実験方法について考え、観察や実験の結果を相互に確認しながら進められるようにした。</p> <p>・仮説や実験方法、考察を自分で考えた後、グループでまとめ、学級全体で共有した。その中で、出てきた意見について話し合うことで、考えを深めることができた。</p>	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し</p> <p>・観察や実験の際に、学習の見通しをもって活動したり、既習事項を生かして観察や実験の方法を考えたりして、活動の目的を明確にするようにする。</p> <p>B 教材開発と工夫</p> <p>・単元の一番初めに問題と出会うところで、単元全体に関連するような場面を提示するなどの工夫をする。</p>

<p>体育</p>	<p>【課題】 ★それぞれの運動の動きの言語化とポイントの焦点化を行い、友達同士で情報を共有することで、技能の向上を図りたい。</p> <p>【工夫】 ☆補助教材の活用 ・学習カードを活用し、単元での自分の成長や課題を明確化できるようにした。 ・写真や映像などを提示し、運動の動きのポイントを全体で確認した。</p>	<p>E 相互の学び合いと手立て ・運動→振り返り→運動→振り返りの流れを確立し、お互いの良さや課題について話し合う機会を積極的に設け、互いに技能向上に向けて協力できるようにする。</p> <p>F 評価 ・本時や単元の最後に振り返りの時間を設け、友達のよさを見つけ合い、相互評価ができるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>【課題】 ★自分の考えを表現するだけでなく、友達と情報交換を積極的に行うことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしたい。</p> <p>【工夫】 ☆教材開発と工夫 ・ワークシートに友達の意見や、友達と情報交換をした感想を書くスペースを設けるようにした。 ・授業の導入で提示する資料や、提示の仕方などを工夫し、価値項目へ考えを向けやすくするようにした。</p>	<p>E 相互の学び合いと手立て ・教材文についての意見を互いに発表して聞き合う意見交換の仕方だけでなく、立場に分かれて意見をぶつけ合ったり、具体的な場面において考えた意見を、ロールプレイを通して実践したり、様々な方法で意見を交流できるようにする。</p> <p>F 評価 ・ワークシートへの評価に限らず、発表した意見について肯定的に受け止め認め合うことのできる学習環境を整えるようにする。</p>
<p>外国語</p>	<p>【課題】 ★外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるようにしたい。 ・外国の言語や文化だけでなく、日本の言語や文化についての理解を深めることができるようにしたい。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・友達と外国語を用いてコミュニケーションを取る機会を毎授業ごとに設けた。</p>	<p>D 補助教材の活用 ・教科書の後ろについているカードやアルファベットカードなどを使い、言語とイメージをつなげて理解できるようにする。</p> <p>E 相互の学び合いと手立て ・積極的にコミュニケーションをとれるようにゲームを多く取り入れる。 ・英語でのフレーズを用いて自分の考えや思いを伝えるスピーチの時間を作る。</p>
<p>今年度の成果と課題</p> <p>【成果】 ・ ・</p> <p>【課題】 ・ ・</p>		